

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院 救命センターでは、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]敗血症患者における脾臓体積による予後の推定

[研究の背景と目的]敗血症に罹患した場合の死亡率は極めて高く、また死亡しなかったとしても高度の障害が残ることが多く報告されています。脾臓は細菌が白血球に効果的に除去されるように修飾するオプソニン化を行います。したがって人体の免疫応答に重要な役割をはたし、脾臓の摘出を受けた患者は重篤な感染症に罹患する可能性が高いと言われています。この研究では脾臓体積と患者さんの予後の関連を調査することで重症化を予測し、より早期に集学的治療を開始することで患者さんの予後を改善することを目的としています。

[研究の方法]

- 対象となる方

2016年4月1日から2020年7月31日までの期間で救命センターに敗血症の診断で入院した患者さん。同期間に血液培養から肺炎球菌が検出された患者さん

- 研究期間

倫理審査承認日から2022年8月31日まで

- 利用する検体やカルテ情報

患者さんの採血結果から抽出する各種臓器障害のデータ

患者さんのCTにおける脾臓体積

[研究組織]

研究責任者

下山 京一郎(しもやま けいいちろう)

東京医科大学病院 救命救急センター 助教

研究分担者

1) 東 一成(あずま かずなり)

東京医科大学病院 救命救急センター 兼任講師

2) 織田 順(おだ じゅん)

東京医科大学病院 救命救急センター 主任教授

[個人情報の取扱い]

個人情報は匿名化を行い管理します。研究で得られた情報は研究に関わるスタッフのみが扱います。PC をインターネットに接続する場合は、セキュリティ対策ソフトを装備します。PC にはログインパスワードを設定します。匿名化後は、データベース毎にパスワードを設定し、データを外部記憶媒体に保存する場合は盗難や情報漏洩の防止に向け、施錠や暗号化などを行います。同意撤回後は速やかにデータを消去します。

管理責任者

下山 京一郎(しもやま けいいちろう)
東京医科大学 救急・災害医学分野 助教

研究成果は個人情報を匿名化した状態で学会などで発表する場合があります。

[問い合わせ先]

東京医科大学 救急・災害医学分野
下山 京一郎
電話番号 03-3342-6111
E-mail shimoyan@tokyo-med.ac.jp